

コスト負担増が顕在化、先行き懸念が強まる

3月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

年度末を迎えるも、一部を除いて受注や売上は伸び悩み、業況についても停滞感が強まっている。燃料価格上昇や慢性的な人手不足に伴う人件費上昇等、経営コストの負担が大きく、先行きへの懸念材料が目立っている。

製造業	食料品		パンは売上が横ばい状態の中、人材確保を既存人員でカバーしている状況である。酒造は吟醸酒・純米吟醸酒の好調が続くも、本醸造酒については苦戦している。食肉は大口の生産農家の安定した出荷で、と畜頭数が若干増加している。
	繊維・同製品		桐生織物は輸出向けの苦戦が続く中、夏物和装が最盛期を迎えている。レースは超高齢社会や人口減少による今後の需要減少を懸念している。繊維製品は大手アパレル店の店舗縮小や、百貨店の売上減少で受注が低迷している。
	窯業・土石製品		生コンは一部地域の年度末発注で出荷量が増加傾向にある。コンクリートブロックは業界の若年層不足や、後継者不在による廃業増加を懸念している。コンクリート製品は公共工事の発注見通しが厳しく、企業間の競争激化を懸念している。
	機械・金属		SUBARU関連の高操業をはじめ、概ね好調の兆しが見られるも、原材料・燃料価格の上昇やコストダウン要請に伴う加工費の削減等に苦慮している。鍍金は仕事量が増加傾向にあるも、人手不足による人件費上昇を不安視している。
	その他の製造業		木材は原料不足が続く中、製品率が低下傾向にある。紙加工品は大手製紙メーカーの相次ぐ値上げや、物流の変化に伴う今後の業界動向を注視している。印刷は年度末需要により一部で受注が増加するも、先細りの傾向が見られる。
非製造業	卸売業		高崎卸のビッグキューブにおいては、就職解禁と同時に合同企業説明会が多数開催される。太田卸は全体として売上高が上昇傾向となるも、収益状況は横ばい状態にある。農産物卸は野菜・果実ともに前年並みに推移している。
	小売業		燃料小売は元売の精製・販売コストの増大で仕入価格が上昇している。生花小売は天候に恵まれる中、卒業祝いや春のお彼岸等の物日が続く、比較的堅調に推移している。商店街は暖かい日が増える中、地域によって客足に格差が見られる。
	サービス業		温泉旅館は卒業旅行等で若者の入込が目立っている。不動産取引は安中市域において、賃貸住宅の空室が目立つ一方で、今後の中古住宅流通市場の活性化に期待している。建築設計は法改正に伴う省エネ基準適合義務化への対応が急務である。
	建設業		建設工事は公共投資の偏りにより、事業量の地域間格差が拡大傾向にある。解体工事は年度末で忙しい中、来月以降の反動減に備え、民間工事の受注確保に傾注している。電気工事は人材不足の影響で、1人当たりの作業量が増加傾向にある。
	運輸業		年度末の繁忙感が乏しい中、一部では運転手不足や過酷な取引条件等の問題が散見される。依然、上昇傾向が続く燃料価格動向を不安視している。小型運送は引越し需要や食料品関係の輸送等が好調で、売上・件数ともに増加している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 112.2(前月比+4.8%)「県統計課・2月」
- 住宅着工戸数 1,087戸(前年同月比+1.5%)「県建築住宅課・2月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.25倍:有効1.60倍「群馬労働局・2月」
- 大型小売店販売額 183億円(前年同月比▲0.3%)「経済産業省・2月」
- 消費者物価指数(全国) 99.8(前年同月比+0.3%)「総務省統計局・2月」
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)